



高槻ロータリークラブ

2019~2020

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
II. みんなに公平か
III. 好意と友情を深めるか
IV. みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6階

TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174

E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

例会場 高槻阪急 6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 入谷治夫 幹事 小阪大輔 クラブ運営委員長 内本繁 会報担当副委員長 大木城司

No.17 2019年11月13日 発行

ロータリー財団月間

第3188回 本日(11/13)の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
◎ 卓話 稲富 博文君
「二輪車の普及活動」
卓話 白石 純一君
「働き方改革と
同一労働・同一賃金について」
◎ 例会後の行事
長期戦略委員会
指名委員会

第3189回 次週(11/20)の例会

移動例会

- ◎ ソング・・・日も風も星も
◎ 例会後の行事
職業奉仕会社見学 13:30~15:00
(於:滋賀大学彦根キャンパス)
紅葉見学 15:30~16:30
(於:湖東三山・西明寺)
秋の親睦会 17:30~19:00
(於:びわ湖大津プリンスホテル)

先週(11/6)の例会から

◎ゲスト・ビジター 計1名

国際ロータリー第2530地区 2010-11年度
ガバナー 大橋 廣治様(福島南RC)

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
51名	44名	88%
前々回例会補正後出席率		93.62%
但し、Mup 1名		欠席者 3名
出席規定適用免除有資格者		2名

◎会長の時間

今月はロータリー財団月間です。「ロータリー財団」については、先月藤井財団担当副委員長が卓話で詳しく説明して頂きました。

先週ですが、伊藤前会長の呼びかけで、川面会員が釣られた鮎の料理を頂く会が山水館でございました。私も鮎の塩焼きを三杯酢で頂くのが大好きです。またオフィシャルでなく、会員の社員や家族の方と共になごやかに過ごすことができました。川面会員ありがとうございました。

次に3日の日曜日にオレンジゴスペル2019が高槻市生涯学習センターで開催されました。今回は高槻東RCが主体で、当クラブと高槻西RCは共催で会場はほぼ満員でした。今回の日本ツアーも9回目とのことで、高槻で開催できるのも3RCの協力のお蔭であると主催のニューヨーク在住、ゴスペル音楽プロデューサー

※11/20(水)例会(第3189回)は、移動例会。

【行先】滋賀県彦根 【バス】11:00 松坂屋横発

ロータリーは世界をつなぐ

マーク・ダニエル・マローニー RI会長

の打木さんが挨拶されていました。ニューヨークからだけでなく、地元のアーティストや関西大学の学生さんのアカペラサークルの参加もあり、また児童虐待防止についての対談もあり、また最後には「Don't Give Up」を全員で合唱し盛り上がりました。児童虐待防止をみんなで考える大変良い機会でありました。

4日の祭日には、3RCのゴルフコンペがございました。6組でのコンペでしたが、残念なことに当クラブからの参加者は私と橋本会員のみでした。団体戦については当クラブが2名のため特別ルールで行われましたが優勝できませんでした。個人戦では橋本会員が優勝されました。おめでとうございます。

ところでクラブの活性化の一つとして、同好会をより活発にすることも大変重要です。当クラブでは写真、ゴルフ、囲碁、カラオケ同好会があります。カラオケ同好会については私も認識不足で、どなたが主体でどのような活動されているのかよく解りません。ゴルフ同好会ももっと積極的な活動をお願いします。川面会員の主導で釣り同好会の発足はどうでしょうか？ 趣味を通じての会員同志の親睦の機会をもっと増やし、魅力あるクラブにしたいと思います。

◎福島南ロータリークラブより御来会

国際ロータリー第2530地区 2010-2011年度
ガバナー 大橋 廣治様



こんにちは。まず最初に福島南 RC のバナーを飾って頂き大変恐縮しております。会報を拝見させていただきました。会報を見るとそのクラブがどのようなクラブか大体分かるものですが、高槻 RC の会報は、とてもすばらしい内容であり、すばらしいクラブだと感じました。

先程貴クラブの岩井会員とお話をさせていただきました。岩井会員は私より7歳年上の87才だとお伺い致しましたが、80代後半で毎週ゴルフに行かれているのはすごいな、人生のチャンピオンだと思いますし、岩井会員のようにすばらしい方がいらっしゃる貴クラブはとてもすばらしいクラブだなどと改めて感じた次第であります。

本日お邪魔させていただきましたのは、この春に丸山先生が当クラブにメーキャップにお見えになられ、多額の浄財をいただきましたので、何はともあれお礼に伺わなくてはと参らせていただいた次第でございます。

3.11 東日本大震災の折には、皆様方に大変お世話になり、ご支援ご協力頂きました事を遅ればせながら御礼申し上げます。鶴も恩返しをしたという事でございますので、私は熊本の震災後と糸魚川の大規模火災後行って参りました。大阪北部地震の際も恥ずかしながらお手伝いをさせていただき、高槻市長より御礼のご挨拶を頂き大変恐縮しているところでございます。

高槻西 RC の近藤様とは東日本大震災の後よりお付き合いをさせて頂いておりますが、近藤様は世界のロータリーと交流を持たれておりすごい方だと思っております。東日本大震災後、近藤様宛にオーストリアのロータリアンから東日本大震災への支援のお申出のお電話があり、近藤様を通じて私共にお話をいただきご支援いただいた次第であります。そのように近藤様とのご縁があり今までできておりますので、これからもぜひお手伝いさせていただきますようお願いいたします。

限られた時間の中、貴重なお時間を頂戴し誠にありがとうございました。以上ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

◎幹事報告

- ・11月ロータリーレート 1ドル：108円
- ・地区大会2日目終了後、懇親会を開催致します。回覧を回しますので、皆様ご参加頂きますようお願い致します。

【日時】2019年12月14日(土)18:30～

【場所】炭味屋

大阪市北区大淀南 1-9-11

TEL:06-6452-0315

【会費】11,000円

◎委員会報告

◎社会奉仕委員会

橋本 憲治

- ・第28回高槻シティハーフマラソンが開催されます。ポイントスタッフのご協力をお願いします。回覧を回しますので、皆様奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

【日時】2019年1月19日(日) ※雨天決行

出発式 10:05～

時差スタート 10:20～

【場所】高槻市立陸上競技場周辺

◎クラブ研修委員会

馬淵 晴彦

- ・今月は「ロータリー財団月間」です。ロータリーの友11月号の推奨記事として、横書きの記事から、P.7「ロータリー財団月間」をご紹介させていただきます。P.31「パズル de ロータリー」の答えは“8”です。お時間のある時に、ぜひ読んでいただければと思います。宜しくお願い致します。

◎クラブ組織委員会

長山 正剛

- ・今年には会員手帳を新しく致します。今から回覧を回します。ご自身のページをご確認頂き、訂正のある方は、訂正ありに○をさせていただき、訂正の項目を赤でご記入下さい。訂正のない方は、訂正なしに○をお願い致します。又、写真を変更したい方は、事務局まで写真をご持参いただくか、石田会員、長山会員に撮影のご相談をしていただければと思います。宜しくお願い致します。
- ・11月27日(水)の例会は、外部卓話として高槻市長にお越し頂き、二人三脚例会を予定しております。会員の皆様と一緒に例会に参加していただける新入会員候補の方がいらっしゃいましたら、ぜひ参加いただきたいと思っております。この機会をきっかけに会員候補者を増やしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

◎クラブ組織委員会

飯田 哲久

- ・第3回会員増強会議を開催致します。皆様ご参加宜しくお願い致します。

【日時】2019年11月7日(木)19:00～

【場所】La・SARA～ラ・サーラ～

高槻市高槻町 15-18 辻中ビル B1

TEL:072-682-8864

【会費】3,500円

○青少年奉仕委員会

松下 浩章

・2019年度アサンプション国際中学高等学校と高槻中学高等学校の交流会のご案内が届いております。高槻中学高等学校の生徒とアサンプション国際中学高等学校の生徒が交流し親睦を図ることを目的としております。回覧を回しますので、皆様奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

【日 時】2019年11月17日(日)

※雨天の場合は11月23日(土)へ変更

【場 所】妙見の森バーベキューテラス

【会 費】無料

【集 合】能勢電鉄 妙見口駅前 10:00 集合

○写真同好会

清水 利男

・フォト研「凜の会」写真展を、10月18日～23日開催致しました。沢山の皆様に来ていただき誠にありがとうございました。又、入谷会長を始め沢山の皆様よりお花を頂戴致しまして、重ねてお礼申し上げます。

◎卓話

「 私の履歴書 」

高木 正一

北おおさか信用金庫監事の高木正一でございます。この度「歴史と伝統のある高槻ロータリークラブ」に入会させて頂きありがとうございます。

本日は「私の履歴書」として発表させていただきます。

私は昭和32年5月28日徳島県美馬郡穴吹町で4人兄弟の末っ子の二男で生まれました。村のどの家も農作業に出る時も、寝る時もほとんど家に鍵は掛けない自然に囲まれたのんびりとした村です。昭和38年4月瀏名幼稚園に入園、翌年4月同じ敷地内の瀏名小学校に入学、同級生は21人(男子12人・女子9人)。当時の学校の先生には山間部手当が支給されていたようですから相当の山奥です。春夏秋冬を問わず毎日山や谷へ行って遊んでいました。そのせいか今でも日焼けがとれずずっと色黒の人生を歩んでいます。小学生の時は家で勉強することは少なく宿題もあまりやっていたように思います。

昭和45年4月口山中学校に入学、数校の小学校が集まる中学校で同級生は75人(男子35人女性32人)A組、B組の2クラスです。学校へは自転車通学、行きは下りで楽でしたが帰りは上り坂、中学校の校則で変速自転車は禁止でしたから普通の自転車でみんな汗をかきながら通学していました。歩くと2つの山を越えれば近道なのですが道は人が一人通れるほどの山道で1時間はかかっていました。中学2年になると本人の進路希望によりA組は進学組、B組は就職組に分かれました。自分は就職を希望していたのでB組です。B組も勉強はしますがA組ほど厳しくなく、A組が勉強していてもB組はソフトボールなど体育の時間が多かったです。私が中学3年生になった4月、自分1人がA組に変えられました。私は訳が分からず家に帰ってそのことを母親に言ったら、中学校の担任の先生が親に会いに家に来て先生から「これからは学歴社会なので、高木君を高校に行かせてやってほしい」と説得に来たとのこと。私の村ではその当時高校に進学する者は少なく、自分も周りも中学校を卒業したら就職するのが当たり前と思っていました。中学校の同級生も男女問わず半数は就職です。でもそこから1年足らずで高校受験です。どこの高校を受験するか、偏差値はどうかなど考える余裕はありません。家庭は裕福ではなかったので汽車で通学する必要がない高校を受験するのみで高校受験に失敗したら次は全く就職することは分かっていた。もうお尻に火が付

いた状態です。中学1年の教科書を引きずり出し自分なりに勉強です。なぜか数学は好きでした。苦手だった科目を中心に勉強です。心の中では就職でよかったのにと思いつつも裕福でない中、高校進学を勧めてくれた母親の思いを裏切ってはいけないとの思いもありました。父親は私が中学1年の時に体調を悪くし入院、週末1度帰ってくる程度で経済面は母親に大きな負担がかかっていた。私と母、祖母の3人暮らし男は自分1人です。ですから農作業も一生懸命手伝いました。

(現在は小学校も中学校も生徒数減少により休校中です)

昭和48年4月穴吹高校に入学、クラスはAからH組までであり私はD組です。家からは当然歩いてはいけませんから中学生まで使っていた自転車で通学です。学校が終わればすぐ帰って家の手伝いです。私は5月が誕生日なので原付免許をとり6月からはヤマハのカブでバイク通学。テニス部に所属していましたがあまり活動しませんでした。家に帰れば農作業の手伝い、自分家の山へ行っては木を切り家まで運んで薪割りするなど母親の負担を少しでも減らそうと家の手伝いをしました。母親1人ではとてもできませんから息子の自分を少しは頼りにしていたと思います。高校3年になり就職先を決めなければなりません。同級生の大半は就職です。両親は徳島県内に就職することを強く望んでいました。自分は何がしたいとか、何になりたいなど特になく、ただ「都会へ行きたい!田舎から出たい!」の一心です。父親から「大阪より遠いところに就職するなら徳島県内におらず、大阪までやったら就職してもいい」と許しができました。何処の会社に就職するか就職担当の先生に大阪からどんな会社が求人にきているか相談、先生から「高木君は金融機関の就職試験を受けてみないか」と言われ大阪の豊中市に本店がある「豊中信用金庫」と東大阪市に本店がある「東大阪信用組合」から男子1名の募集がきているとのこと。当時、高校生は先生と生徒が相談して応募先を1社に絞る「1人1社」というルールがあるからどちらかに決めなくてははいけません。私は豊中がどこで、東大阪はどのへんにあるのかさっぱり分からず、義兄が大阪に住んでいたので豊中市と東大阪市やたらどっちが都会かだけを聞きました。義兄から豊中の方が都会だが大阪空港が近いから飛行機の音はうるさいで、東大阪はちょっと田舎やと聞き、豊中信用金庫の就職試験を受けよう決めました。高松市内のホテルで1泊2日の豊中信用金庫採用試験。四国県内から20人が試験に来て筆記と面接試験です。四国から男性3人、女性5人の8人が採用されました。でも男性2人は2年足らずで退職、田舎に帰りました。

昭和51年3月8日男子独身寮の「豊信寮」に入寮。当時は男子寮1棟、女子寮2棟ありました。11日から研修スタート、男性26人(大卒15人・高卒11人)、女性は高卒56人の同期82人です。毎日ソロバンと札勘(お札の数え方)の練習です。約2週間の研修を終え4月1日各々の支店に配属、私は箕面支店(現箕面東支店)に男性2人(大卒1人)、女性3人の計5人で配属、最初の仕事は全員内勤、大卒の1人は2年ほどで営業担当に配置換え、私は早く営業担当になりたかったのですが3年間内勤担当でした。当時の私は同期全員スタートラインは同じだと思っていました。でも田舎では思いもよらなかった学歴社会の厳しさを実感。その時、自分は高卒だから支店長は無理だ、でも次長までは頑張るだろうと決意したものです。昭和54年4月から営業担当に配属、とてもうれしくそれなりに営業は頑張っていました。営業成績も上位でボーナス評価はA評価、本部に呼ばれ役員の方から表彰状と金一封を頂いていました。田舎の両親には帰省の度に仕事は慣れてそれなりに頑張っていると報告、両親・祖母とも安心していました。そ

んな中、5年目の4月に3人目の支店長が着任それ以降、ボーナス評価は常にC評価で以前とはボーナス支給額で十数万円の差がありました。当時の支店長とは折りが合わず退職も考えましたが、逃避型の転職で自分の人生が変わるのが嫌で6年目の10月に自分から支店長に転勤希望を申し出ました。支店長はうれしかったのか1週間後に転勤の異動発令、支店内で私の転勤のあいさつは当然なしです。その時私が最初に学んだことは「いつか自分が部下を持った時、えこひいきで部下を評価したり、儀礼を無視する上司にはなるまい」でした。

昭和57年10月18日庄内支店営業担当に転勤。庄内支店着任時、次長から「高木君のボーナス評価は何でこんなに悪いんや。何かやったんか？」と聞かれたことは忘れられません。庄内支店で5年間勤務、その後転勤してきた次長に出会えたことが自分では大きなターニングポイントになったと思います。私は勉強が好きでないため各種資格試験を受けるも試験会場に遅れて行ったり、ドタキャンしたりで不合格ばかり。営業成績をしっかりと上げていけばいいと自分で満足していました。ある日次長に呼ばれ「いくら営業成績が良くても試験に合格しないと昇進はできないし推薦もできない。何で勉強せんのか、その分同期にどんどん置いて行かれるぞ」と激怒、喝を入れられ以降、支店職員が帰った後、毎日次長が1時間～2時間、試験合格に向けて個人指導です。そのお蔭で4回目にしてやっと基礎実務試験に合格、翌年は上級実務試験も合格、社会人になっても勉強する大切さを新ためて痛感、私が2番目に学んだことは自分の部下・後輩へは自己研鑽の必要性や勉強の大切さを教えようでした。

昭和62年10月新千里南支店に転勤し2年後係長に昇進、当時の支店長は几帳面な方で、交渉事においては7割の主張と3割の妥協の心構え、約束事を守る大切さを学び今後の自分に大きく役立つ私が3番目に学んだことでした。

平成3年3月梅田支店転勤、翌年支店長代理昇進、その後3支店異動し平成12年1月船場支店の次長に昇進して転勤（入庫時目標にしてた次長です）

4年後の2月千里山駅前支店支店長に昇進して転勤（46歳）以降、支店長として通算15年4か月、7支店を勤務。その内、平成23年11月から今年の6月までの通算7年7か月は高槻市内の支店長で4支店です。ここにおられる皆さまに本当にお世話になり新ためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

<最後に>

昭和26年信用金庫制定時は全国で560金庫数でしたが今は257金庫と半数近くです。大阪府下でも当時34金庫でしたが今は7金庫になっています。信用金庫を取り巻く環境は、人口減少や後継者問題に伴う事業所数の減少が出てきております。地域金融機関としてこれまで以上に事業先様の抱える課題解決に向けた金融仲介機能の発揮が求められています。北おおさか信用金庫では今年は特に、創業支援、後継者問題への取組み(M&A)の分野に力を入れております。今後も地域の金融機関として皆様のためを念頭に、頑張る所存でございます、今後も皆さまのご指導をお願いいたします、私の履歴書の発表を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

◎卓話

「ガバナー補佐を終えて思った事」

松尾 浩

私は2019年6月30日を迎えて、やっとガバナー補佐の大役から解放されると思った日でありました。

2016年12月にガバナー補佐ノミニーとして声をかけられ2017-2018年エレクトとしてガバナー補佐見習いの研修の日々。そして2018-2019年ガバナー補佐としての職責を果たす年でありまして第2660地区第2組のガバナー補佐の重責を感じて、地区行事・クラブ訪問・クラブ協議会等をこなしてきたロータリー活動に費やした日数は約100日間でありました。

今はガバナー補佐の大役をやり終えた満足感というか大火なくやり終えた安堵感・充実感というものやとて感じられてきた今日この頃です。

ガバナー補佐という役職は1996年のRI理事会で決定された役職で地区から任命され指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責務を負う。

ガバナーの役割を分担する形でクラブと地区を結びつける役割を担う仕事として

「担当クラブを定期的に訪問する。」

「クラブの現状をガバナーに報告する。」

「会員の声を聞き情報やアドバイスを提供して

クラブを成功へと導く。」

2016年規定審議会で決定されてクラブ再編より第2組は12クラブから第6組からクラブ組換により15クラブになりロータリー会員538名の大所帯となり、活気のあるクラブ活動をテーマとして再編された2018年度でした。

ガバナー補佐として各クラブ訪問を年間4回こなしてきて各クラブ訪問で感じたことをお伝えしたいと思えます。

第2組15クラブに対して感じた事は自クラブに対して愛着をもたれて地域社会に対して何かアクションを起こす事がロータリーアンになった自分の務めであると自覚されている会員が多いように感じました。自分は選ばれし者として社会に対して何か行動を起こさなければロータリー活動を行っている足跡が残せないと思われている方々が多いと思います。

ロータリークラブは奉仕団体と思われがちですが、奉仕を行なう人々を作る団体である事がライオンズクラブとの違いである事を認識して、個人の奉仕活動がロータリークラブの奉仕活動の大きな力になっている。簡単に言えば1人で奉仕する事が職業奉仕、数人で奉仕する事が社会奉仕である事をよく理解されて行動に移されていると思います。クラブの高齢化率はどのクラブにとっても大きな課題になっています。平均年齢が67歳前後が多いクラブがほとんどで2029年になるとどれだけクラブ運営が続いているか現時点においてはかなり危機感をもってもらわなければならないと思います。会員増強を強調するのはクラブ存続の点が多多数の問題を解決するのに最適な行動であると思えます。

今年の規定審議会でもメーキャップの柔軟な対応、職業分類の撤廃、ロータリーアクトの会員身分の保証など次世代に向けての取り組みがされるのは次の10年でクラブ運営に支障が出ないように取組であると感じます。奉仕活動、社会貢献に目を向けると20名弱のクラブは国際交換留学生を受け入れることを国際交流の柱として国際奉仕活動だけに絞りとして活動されていたり

多方向に活動の領域を広げて、国内・外問わず医療・福祉分野で貢献されているクラブもあり、クラブの個性を十二分に出されてすばらしいロータリーアン相互の連携のもと使命感をもって活動されておりました。でも反対に全くもってロータリークラブの存在意義を理解されずに昼食会で終わられているクラブもあり、私がクラブ訪問しても何の関心も持たずにクラブ活動すら行われていないクラブもあり、先が思い悩まれると感じるクラブありました。足元を見ていきたいと思えます。

我が高槻 RC を地区の 15 クラブの 1 つのクラブと考えて考察したいと思います。

高槻 RC は 1954 年 6 月大阪 RC を親クラブとして大阪・大阪南・大阪東・池田・高槻とクラブが設立され 2019 年 6 月には 65 周年という歴史と伝統のあるクラブであると内外共に紹介されたと思えます。65 年間の年月を費やし、先人が培われた歴史・伝統・品格・格式すべてが作られてきたと思っております。

ビジョンを持ち価値観を高める為にはクラブ会員の英知をロータリーアンとしての自我の目覚めが必要であると思っております。

ビジョンは自分自身のロータリー活動を通して地域社会での奉仕活動をしてクラブの価値観が生まれてきて様々な考え方を繋ぎあわせ問題解決に取り組んでいく事であると思えます。その価値観を共有できるのはクラブの方向性をきっちりと目標設定を立てていく事であると思えます。地区からクラブを見ているとクラブ中、長期の戦略をしっかりと立てていき目標の行き先を明確に定めて行動していく事の大切さが理解できると思えます。

50 名の会員を有して IM 第 2 組 15 クラブでは第 2 位の会員数をほこっています。平均年齢は 63 歳、5 年未満 18 名とロータリーアンとしてのこの先 10 年間はクラブの存続は問題はないと思っております。やはり数は力で目標会員数は 70 名において会員増強に努めて頂きたいと思っております。ロータリークラブに入会された方々にロータリーの良さを知ってもらう為のオリエンテーションという研修システムがどのクラブも出来ていないのが現状です。この事は退会に繋がると思う感がゆがめないので。例会終了後の 30 分間には 1 年間教育プログラムを新入会員にレクチャーする必要があると思えます。

ロータリークラブの良さは奉仕活動にあり、職業奉仕が個人・社会奉仕にクラブ会員の努めである事の意味を研修すべきではないかと思えます。入会したら終わりという事は新入会員の方にはロータリー用語 1 つとっても理解出来ずに例会出席をする事はあまりにも酷な話であると思えます。

又、歴史と伝統のあるクラブとしては 1 人 1 人は迫力のある方々の集まりであるが小じんまりとまとまり過ぎていくクラブと思われる。行動力が弱すぎると感じています。地域が発信力をもって社会奉仕活動の実績をアピールしていかなくてはならないと思えます。

社会奉仕活動、国際奉仕活動に対して地区補助金、グローバル補助金を活用して事業の取り組みは名門クラブとしての先人が築いてくれた高槻 RC の重みを感じ、汲み取って頂いた方がよいと思えます。地域をけん引していくクラブであってほしいと思えます。

寄附金に対して地区目標を最低限であっても早期に達成してもらおう気持ちでなければ名門クラブとして名がすたれると思えます。地区目標を達成することが名門クラブの務めである。

中長期戦略会議では名門復活への議論を活発に行ってほしい。

1974 年以来ガバナー選出以来 45 年も経っているが、一向に気運が上がらない。地区からしては何故かと思われている。ガバナーを高槻 RC から選出する目標を立て事業計画を見出して年単位での人材育成に取り組まなければならない。

ガバナー選出は大変重要な目標であることをクラブ会員が認識をもって意識付けをつけるようにしなければ高槻 RC の名門クラブとしての自我が目覚めていかないとと思う。

時代は変わった。しかしロータリークラブは変わってはならない事と時代に沿って変わっていかなくてはならないことがある。高槻 RC にとっては変わってはならないことに名門クラブ 65 年の歴史と伝統・格式・品格のあるクラブであり続けることであると思えます。

機会があれば地区に出向してみたいか。ガバナー補佐として地区に出向して高槻 RC に入っていて良かったと思える事が多々ありました。



◎11/6 卓上花

ガーベラ …………… 希望

レースフラワー …… 可憐な心

◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 **岩井君、川面君、西本君** (古希を迎え増々ロータリーを楽しんでおります。今後共よろしくお願い致します。)
- ・結婚記念内祝 **田渕君、高木君** (結婚して 36 年になります。健康で 2 人仲良くこれからも人生歩んでいきます。ありがとうございます。)
- ・創業記念内祝 **井前君、飯島君、伊藤君、片山君、松尾君**
- ・高槻 3RC ゴルフコンペで個人優勝しました！ **橋本君**
- ・福島南 RC の大橋様、高槻 RC にお越しいただきありがとうございます。 **入谷君**
- ・当社野球部が社会人野球大会で初優勝しました。 **岩崎君**
- ・福島南 RC 大橋廣治様、遠方の所よくおいで下さいました。本当にありがとうございます。 **丸山君**
- ・拙い卓話を聞いて頂いて。 **松尾君**
- ・知人の息子さん (吉田大樹君) が今年のドラフトでヤクルトスワローズに第 2 巡目に指名されました。バンザイ、良かったです。学歴は、大阪府立大冠高等学校 → 日本体育大学 → ヤクルト入団予定です。 **西田君**
- ・フォト研 凜の会の展示会に多数の皆様お越し下さり有難うございました。 **清水君**
- ・ **福島南 RC 大橋 廣治様**

本日の合計	¥ 18,100-
7/1 よりの累計	¥ 944,000-

◎R 財団への寄付

伊藤 智秋君 ¥ 5,000- 片山美智子君 ¥ 5,000-
 河合 一人君 ¥10,000- 丸山 俊郎君 ¥ 5,000-
 松尾 浩君 ¥ 5,000-
 松下 浩章君 ¥ 5,000- (先日 2660 地区の大輪ゴルフ
 コンペで浦中君とペアで
 参加し、入賞させて頂きま
 した。)
 長山 正剛君 ¥ 5,000- (会員増強いつもありがとう
 ございます。今後もご協力
 よろしくお願い致します。)
 西田 直弘君 ¥10,000- 西本恵美子君 ¥25,000-
 山口 誠君 ¥ 5,000-

本日の合計 ¥ 80,000-
 7/1 よりの累計 ¥ 916,460-
 年次基金会員より ¥ 440,000-
 年次基金クラブより ¥ 33,460-
 ポリオプラス会員より ¥ 443,000-
 一人当たり平均 \$ 166.39

◎米山奨学会への寄付

橋本 憲治君 ¥ 5,000- 入谷 治夫君 ¥ 5,000-
 岩井 祐造君 ¥ 5,000- 松下 浩章君 ¥ 5,000-
 西田 直弘君 ¥10,000- 山口 誠君 ¥ 5,000-

本日の合計 ¥ 35,000-
 7/1 よりの累計 ¥ 330,000-
 (会員より ¥ 210,000-)
 (クラブより ¥ 120,000-)
 一人当たり平均 ¥ 6,471-

◎青少年育成基金への寄付

井前 憲司君 ¥ 5,000- 山口 誠君 ¥ 5,000-

本日の合計 ¥ 10,000-
 7/1 よりの累計 ¥ 140,000-

2019-2020 年度例会プログラム

月	日	内 容	例会後の行事	備 考
11 月	13	卓話(稲富君・白石君)		秋の RYLA セミナー(11/2~4)
	20	移動例会(滋賀大学職業奉仕会社見学)	秋の親睦会	IAC 年次大会(11/10) 学友会総会(秋)(11/10)
	27	二人三脚例会 外部卓話(高槻市長 濱田 剛史様)		* 国際奉仕委員会
12 月	4	記念月御祝/年次総会/卓話(清水君)	定例理事会	疾病予防と治療月間
	11	卓話(岩井君・光本君)	被選理事会	地区大会(12/13~14)
	18	外部卓話(片岡製作所 片岡 宏二様)		
	22	25→22 移動例会(於:山水館)	忘年家族例会	* クラブ運営委員会
1 月	1	定款による休会		職業奉仕月間
	8	3RC 新年合同例会(ホスト)(於:山水館)		
	15	記念月御祝/外部卓話(松尾会員より紹介の方)	定例理事会	
	22	卓話(西本君・藤松君)	被選理事会	
	29	移動例会(於:山水館)/卓話(馬淵君・石田君)		* 職業奉仕委員会
2 月	5	移動例会(於:桃谷樓)/記念月御祝 卓話(坂野君・橋本君)	定例理事会	平和と紛争予防/紛争解決月間
	12	外部卓話(ミキハウス 木村 皓一様)	被選理事会	ローターアクト第 2 回地区献血(2/16)
	19	卓話(河合君・松下君)		
	26	卓話(大木君・篠原君)		* 国際奉仕委員会